

学校法人 金沢医科大学 平成 25 年度決算

学校法人金沢医科大学の平成 25 年度決算が、5 月 30 日（金）開催の第 226 回理事会及び第 121 回評議員会において承認されました。その概要及び収支等の状況は次のとおりです。

1. 概 要

平成 25 年度は、収入面では、学生生徒等納付金が学生数の増加により 50 億円を超え、資産運用収入や特定資産償還差額などで増収となったことにより、帰属収入合計は前年比 4 億 8 千万円増の 281 億 8 百万円となりました。

支出面では、医療スタッフの拡充による人件費増などにより、消費支出合計は前年度を 2 億 5 千 3 百万円上回る 269 億 1 千万円となりました。

この結果、帰属収入から消費支出を差引いた収支差額は 11 億 9 千 8 百万円の収入超過となりました。

2. 消費収支計算書の状況

【主な収入】

(1) 学生生徒等納付金

医学部生の増加等により、前年比 1 億 1 千 6 百万円増の 50 億 7 百万円となりました。学生数は、医学部生 673 名、大学院生 102 名、看護学部生 275 名の合計 1,050 名です。

(2) 寄付金

寄付金総額は、前年比 3 億 1 千 6 百万円減の 7 億 8 千 1 百万円となりました。特別寄付金のうち 2 億 2 千 8 百万円が創立 40 周年記念事業に係るものです。

(3) 補助金

補助金総額は、前年比 5 千万円増の 16 億 8 千 5 百万円となりました。

うち、私立大学等経常費補助金は 4 千 9 百万円増の 12 億 7 千 2 百万円、文部科学省研究装置設備補助金は共同研究用機器 13 件で 2 億 8 百万円となりました。その他の補助金は 1 億 5 千 9 百万円で、MRI 装置整備に係る石川県からの補助金 5 千万円が含まれています。

(4) 医療収入

医療収入総額は、前年比 4 千 4 百万円減の 191 億 7 百万円となりました。

入院収入は、診療単価が 2.0% 増加しましたが、病床利用率が 81.9% と 2.5 ポイント減少したことなどにより、前年比 1 億 7 千 3 百万円減の 142 億 2 千 9 百万円となりました。

一方、外来収入は、外来延患者数が 0.9% 減少しましたが、診療単価が 3.3% 増加したことなどにより、前年比 1 億 2 千 9 百万円増の 48 億 7 千 8 百万円となりました。

なお、医療収入の帰属収入に占める割合は 68.0%（前年度 69.3%）です。

【主な費用】

(1) 人件費

人件費総額は、前年比 2 億 9 千 6 百万円増となる 129 億 1 千 6 百万円となりました。うち、教員人件費は、2 千 9 百万円増の 38 億 6 千 6 百万円、職員人件費は看護師など医療スタッフの増員により、3 億 1 千 4 百万円増の 82 億 9 千 2 百万円、役員報酬は 8 千 2 百万円、退職給与引当金繰入額及び退職金は 3 千 9 百万円減の 6 億 7 千 6 百万円となりました。

なお、人件費の帰属収入に占める割合は46.0%（前年度45.7%）です。

(2) 教育研究経費

医学部及び看護学部の国家試験強化対策、大学院及び総合医学研究所の活性化推進事業、医師及び看護師の定着を目的とした奨学金給付などで前年比1千4百万円増の17億8千3百万円となりました。

(3) 医療経費

前年比1億4千6百万円増の89億7千6百万円となりました。うち薬品費が7千6百万円の減、医療材料費が6千3百万円の増となりました。その他の医療経費が1億5千8百万円増えているのは、光熱水費、委託費、修繕費などの増加によるものです。

なお、医療経費の医療収入に占める割合は47.0%（前年度46.1%）、帰属収入に占める割合は31.9%（同32.0%）です。

(4) 減価償却額及び資産処分差額等

減価償却額及び資産処分差額の合計は、前年比1億1百万円減の26億4千1百万円となりました。

この結果、帰属収入の部合計281億8百万円から、消費支出の部の合計269億1千万円を差引いた収支差額は、前年比2億2千7百万円増となる11億9千8百万円の収入超過となりました。

消費収支計算書

(自)平成25年4月1日

(至)平成26年3月31日

(単位：百万円)

消費収入の部			消費支出の部		
科目	金額	前年比	科目	金額	前年比
学生生徒等納付金	5,007	116	人件費	12,916	296
手数料	207	29	教育研究経費	1,783	14
寄付金	781	316	医療経費	8,976	146
補助金	1,685	50	管理経費	590	104
資産運用収入	297	154	借入金等利息	4	2
特定資産償還差額	458	458	減価償却額及び	2,641	101
事業収入	363	1	資産処分差額等		
医療収入	19,107	44			
雑収入	203	34			
帰属収入合計	28,108	480	消費支出の部合計	26,910	253
			(収支差額)	(1,198)	(227)
基本金組入額	2,255	403	有価証券評価差額	0	0
消費収入の部合計	25,853	77	消費収支差額	1,057	176

(注) は計算書式上のマイナス表示、 は比較上のマイナスを表示（以下同じ）

前年比は平成24年度決算との比較です。

3. 資金収支計算書の状況

【主な資金収入・支出】

消費収支計算書で説明した項目については割愛させていただきます。

(1) 借入金等収入

期中の運転資金として銀行から 10 億円を借入れしました。

また、教育振興基金（学校債）を募集し、2 億 4 千 5 百万円の資金調達を行いました。

(2) 借入金等返済支出

期中に借入れた短期借入金 10 億円を返済しました。

また、学校債については、定期償還及び繰上償還等で 4 億 7 千 1 百万円を返済しました。

(3) 施設・設備関係支出

施設関係支出では、医学教育棟建設工事中間金 13 億 8 千 3 百万円、受変電設備更新工事 1 億 4 千 2 百万円、中央監視装置リモートステーション更新工事 5 千 7 百万円、MR - CT 棟撮影室改修工事 5 千万円、新消雪井戸設置工事 4 千 1 百万円、エレベーターリニューアル工事 3 千万円ほかで、合計 18 億 8 千 7 百万円を支出しました。

設備関係支出では、電子カルテ用サーバ&クライアントシステム 3 億 1 千万円、電子カルテ用ソフトウェア 2 億 8 千 2 百万円、MRI 装置 1 億 3 千 7 百万円（うち、補助金交付額 5 千万円）、多光子励起レーザ走査型顕微鏡 7 千万円（同、3 千 4 百万円）、ハイスループット細胞機能探索システム 4 千 2 百万円（同、2 千 2 百万円）、超音波診断装置 3 千 9 百万円（同、2 千 6 百万円）、FPD 画像管理システム 3 千 4 百万円（同、1 千 7 百万円）、セルソーター 3 千 2 百万円（同、2 千 1 百万円）及び医療機器の更新などで、合計 13 億 9 千 7 百万円を支出しました。

資 金 収 支 計 算 書

（自）平成 25 年 4 月 1 日

（至）平成 26 年 3 月 31 日

（単位：百万円）

収入の部			支出の部		
科 目	金 額	前年比	科 目	金 額	前年比
学生生徒等納付金収入	5,007	116	人件費支出	12,821	68
手数料収入	207	29	教育研究経費支出	1,783	14
寄付金収入	746	319	医療経費支出	9,058	232
補助金収入	1,685	50	管理経費支出	590	104
資産運用収入	297	154	借入金等利息支出	4	2
事業収入	363	1	借入金等返済支出	1,471	73
医療収入	19,107	44	施設関係支出	1,887	493
雑収入	203	34	設備関係支出	1,397	723
借入金等収入	1,245	118	資産運用支出	1,600	1,600
前受金収入	2,584	65	その他の支出	3,040	164
その他の収入	5,234	1,159			
資金収入調整勘定	6,138	74	資金支出調整勘定	2,321	501
前年度繰越支払資金	6,014	593	次年度繰越支払資金	5,224	790
収入の部合計	36,554	1,662	支出の部合計	36,554	1,662

（注） は計算書式上のマイナス表示、 は比較上のマイナスを表示（以下同じ）。
前年比は平成 24 年度決算との比較です。

(4) その他の支出

その他の支出には奨学事業貸付金が含まれており、医学部生に1億1千2百万円、看護学部生に9千3百万円を支出しました。

以上の資金収支計算の結果、平成25年度の次年度繰越支払資金(手持運転資金)は前年比7億9千万円減となる52億2千4百万円となりました。

4. 貸借対照表の状況

【主な増減】

(1) 資産の部

資産総額は、前年比4億8千4百万円増の554億1千3百万円となりました。

これは、建物ほかの除却や減価償却による減少額に対して建設仮勘定や減価償却引当特定資産などの増加額が上回ったことによるものです。

建設仮勘定が13億8千4百万円増加しているのは、医学教育棟建設工事の中間金を支払ったためです。

長期貸付金は医学部生、看護学部生への奨学貸付金で、7億5千7百万円となりました。

流動資産のうち、現金預金は7億9千万円減の52億2千4百万円となりました。

(2) 負債の部

負債総額は、前年比7億1千4百万円減の163億7千7百万円となりました。

退職給与引当金は、前年比9千5百万円増の76億4千5百万円となりました。

(3) 正味財産は、前年比11億9千8百万円増の390億3千6百万円となりました。この結果、資産総額に対する正味財産の割合は70.4%となり、前年度より1.5ポイント増加しました。

なお、情報公開の一環として、平成25年度財務関係書類(財産目録、貸借対照表、収支計算書、事業報告書及び監査報告書)を本学のホームページ上に掲載しています。

(<http://www.kanazawa-med.ac.jp> 「事業報告及び決算について」)

5. 金沢医科大学氷見市民病院の状況

平成25年度は、医療スタッフを増員して診療体制を整備し、前年度に取得した7対1看護施設基準の維持、入院・外来患者の増加、手術件数の増加、救急患者受け入れ態勢の強化などにより医業収益は大幅に増加しました。また、11月に教育研修棟が竣工し、研究室やカンファレンスルームが整備されるなど研修体制が整いました。この結果、医業収益は開業以来6年間で最大となりましたが、医業費用も増加したため経常利益は2千3百万円の支出超過となりました。

(1) 損益計算書

医業収益は、患者数の増などにより前年比1億3千5百万円増の52億3百万円となりました。うち、入院収益は、前年比7千6百万円増の33億3千9百万円、外来収益は、前年比6千万円増の18億4千5百万円です。

医業費用は、前年比2億3千1百万円増の56億3百万円で、うち、材料費が前年比1千3百万円増の15億1百万円、給与費が職員数の増により前年比1億1千9百万円増の30億1千6百万円、委託費は平成23年度の移転開院時に導入した医療機器の保守費が増えたことにより5千9百万円増の5億1千万円、設備関係費が1億2千5百万円、その他の経費で2億5千5百万円、氷見市へ支払う指定管理者負担金は8百万円増の1億9千6百万円です。

医業外収益は、3億7千7百万円で、うち氷見市からの交付金など補助金収益は3億6千万円です。

(2) 貸借対照表

資産総額は14億1千7百万円、負債総額は9億4千9百万円、純資産は4億6千8百万円です。

流動資産は12億9千万円です。

うち、現金預金は1千6百万円、未収入金は11億9千6百万円、貯蔵品は8千万円です。

流動負債は6億5千3百万円です。

うち、未払金は4億5千2百万円、預り金は4千6百万円、賞与引当金は1億5千5百万円です。

固定負債は退職給付引当金で、2億9千6百万円です。

純資産のうち大学会計からの収益事業元入金は7億6千9百万円となりました。

(財務部 舛井昭秀 記)

金沢医科大学氷見市民病院 損益計算書

(自)平成25年4月1日
(至)平成26年3月31日

(損益計算書)		(単位:百万円)	
科目	決算額	科目	決算額
医業収益	5,203	医業費用	5,603
入院収益	3,339	材料費	1,501
外来収益	1,845	給与費	3,016
受託事業収益	5	委託費	510
施設設備利用収益	14	設備関係費	125
		経費	255
		指定管理者負担金	196
		医業利益	400
医業外収益	377	医業外費用	0
寄付金収益	8		
補助金収益	360		
雑益	9	経常利益	23

金沢医科大学氷見市民病院 貸借対照表

平成26年3月31日現在

(貸借対照表)		(単位:百万円)	
科目	決算額	科目	決算額
流動資産	1,290	流動負債	653
現金及び預金	16	未払金	452
未収入金	1,196	預り金	46
徴収不能引当金	8	賞与引当金	155
貯蔵品	80	その他	0
その他	6	固定負債	296
固定資産	127	退職給付引当金	296
工具器具備品	181	負債の部合計	949
減価償却累計額	54	純資産	468
車輛	2	元入金	769
減価償却累計額	2	利益剰余金	301
資産の部合計	1,417	純資産の部合計	468
		負債・純資産合計	1,417